

---

# アジア地域産業集積調査結果要旨

2001年3月26日

経団連・産業問題委員会

---

## 1. 調査の視点

- ・地域の立地競争力
- ・地域産業の高度化
- ・新たな産業集積構築への取り組み
- ・創業の促進

## 2. 訪問先

- ・台湾 (台北、新竹、台南、高雄)
- ・マレーシア (ペナン)
- ・シンガポール
- ・中国 (上海浦東)

### 3 . 調査の結果

#### 中国（上海浦東）

迅速かつ大規模なインフラ整備  
安価で豊富な労働力の供給  
広大なマーケットの生産基地  
としての地理的優位性

#### 台湾（台北、新竹、台南、高雄）

条件の良い場所に大規模団地を  
造成し、産業を集積  
周辺の大学、研究機関との産学連携  
生産拠点と研究開発の組み合わせに  
よる集積  
政府の強い指導力  
人材の確保  
労働集約型産業の中国大陸シフトに  
ともなう空洞化防止策

#### マレーシア（ペナン）

州の明確な工業化政策  
大規模工業用地などインフラの整備  
比較的レベルの高い人材の供給  
地元産業の育成

#### シンガポール

明確な産業政策の提示と政府のリー  
ダーシップ  
高機能かつ利用しやすい海運インフラ  
充実した空港  
優秀な人材、英語を話す人材の集積  
安定した政治体制

## 4 . 地域における課題とその解決策

### (1)明確な工業化戦略・施策の策定

#### シンガポール（インダストリー 2 1 計画）

- ・知識を人材・資本財などの生産要素に付加することで、知識型経済（knowledge based economy）への移行を目指す。
- ・製造業重視は堅持  
中長期的にGDPの製造業のシェア25%超、雇用者総数に占める製造業従業者20%超を維持

#### マレーシアペナン開発公社による工業化計画

- ・従来の外資の誘導に加え、アジア域内の高付加価値産業の誘致を図る

#### 中国浦東地区政府による「外国企業投資産業指導目録」

- ・奨励、制限、禁止、容認の4区分の業種を指定し、それに基づき、極力、高付加価値産業の誘致を図る



地域の明確な工業化戦略の策定と施策の実行

## (2)国と地域が一体となった地域特有の優遇措置の提供

### シンガポール

#### 優遇措置(シンガポール政府)

- 一定規模以上の資本投資や、高度技術に関連したプロジェクトに対するパイオニアインセンティブ(法人税を5~10年間免税)
- 高付加価値事業に係わる追加投資や事業拡張に対するインセンティブ(最長10年間の法人税の優遇税率)
- 新規投資(生産設備導入)に対する投資所得控除(最大50%)
- アジア地域統轄本部の誘致促進施策(シンガポール政府)
- 海運業、倉庫業、地域統轄会社等、特定業種や事業内容に応じた法人税の減免など

### マレーシア・ペナン

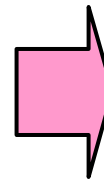
#### 優遇措置(マレーシア政府)

- ・創始産業資格「認定事業に係わる法定所得の7割を最大5年間免税
- ・投資税額控除「承認後5年以内に発生した資本的支出に対し6割の控除枠が与えられ、毎年の法定所得の7割まで相殺可能

### 中国・浦東地区

#### 企業所得税の優遇(中国政府)

- ・100%外資経営の製造業企業は15%の低減税率を適用、そのうち経営期間10年超の場合、黒字計上年度から2年間免税、3~5年目は半額免税
- 地方所得税の免除、都市家屋土地不動産税の優遇(上海市政府)



地域特有の優遇措置  
・地域の特徴を活かした優遇措置

### (3)重点的インフラ整備

#### 台湾 (アジア太平洋オペレーションセンター構想)

- ・1995年に発表し、高雄港をアジアにおける物流ハブ機能を担う重要拠点と位置付けて整備中

#### シンガポール (東南アジア地域における空運・海運のハブ化政策)

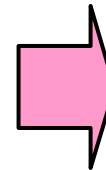
- ・コンテナターミナルでは、コンピュータシステムを活用し、簡素化された通関手続を実現
- ・チャンギ国際空港は中心地から15Kmで、4000m滑走路を2本有する24時間空港

#### マレーシア

- ・ペナン・セランゴールなどに高水準の設備を備えた港湾を有し、取扱量増加とコンテナ化に対応すべく整備中
- ・クアラルンプール、ペナンでの大規模国際空港の整備

#### 中国(上海)

- ・水深12.5mバースの整備を進めており、貨物取扱能力の飛躍的拡大を目指す
- ・浦東地区の国際空港は、将来的には4000m滑走路4本に拡張する予定



重点的インフラ整備  
24時間対応型港湾、  
空港等

#### (4)地域を担う人材の育成・集積

##### 台湾

・米国留学組の帰国と国内での事業参加を促進するため、新竹・台南に科学工業園区を整備、快適な住環境・職場環境を提供し、帰国した技術者に対する税制優遇や、従業員のストックオプションの実現益に係る課税軽減制度等を導入

世界最大級のEMS企業集積などに結実

・工業技術院からのスピンアウト

##### シンガポール

・海外留学組シンガポール人の帰国奨励

・IT、バイオ等各種産業分野における高度技術者の招聘  
優秀な人材育成（共通試験制度等）、英語公用語政策

II、高付加価値型製造業の集積に結実

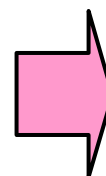
##### マレーシア

・MSU（マレーシア工科大学）、ペナン技能開発センターによる人材の育成と地元産業の発展

##### 中国（浦東）

・海外留学経験者を活用するために「張江留学人員創業園」を設立

・入居者に税制優遇、資金提供、住宅提供等で支援



海外留学組を中心とした企業家・技術者・コーディネーター等の人材の確保

## (5)地域における研究開発機能の活性化

### 台湾

- ・日本の学研都市と台湾の工業園区の違い

日本の学研都市 研究機能の集積



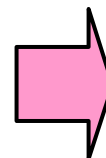
台湾の工業園区 生産拠点と研究開発機能の複合集積

新竹 交通大学、精華大学、工業技術研究院 など

台南 高雄大学、成功大学、長栄管理学院、台南技術学院、  
工業技術研究院分室 など

### 複合集積の結果、

- ・部品、材料、製造装置メーカー等が集積に参入
- ・工業技術研究院の活性化  
法人化されたことにより職員は積極的に民間との共同プロジェクトを立案



生産・研究開発拠点  
の複合集積

以上